



「天の時」「地の利」「人の和」。  
それは時代を超えて語りかけてくる  
人生の真実。

しかつりょうどうめい  
**諸葛亮孔明**  
(声：橋爪 功)

原 作：三國志演義/羅貫中	音 楽：金 復 巖	総合プロデューサー：山崎 暲 明
脚 本：ジェームス三木	演出：小森 悠 宏	出 演：美川 雅 治 研
演 出：小森 悠 宏	録音・演奏：中国上海放送交響楽団	声の出演：美川 雅 治 研
人形美術：川本重八郎	：中国上海放送交響楽団	製 作：美川 雅 治 研



**人形だからこそ再現できた世界観**

劇四幕組日小観劇受賞 川本重八郎の人形美術  
日本を代表する人形美術家、川本重八郎が本作品のために創り上げた80数体の大型人形。誰もが思い浮かべる典型的な登場人物像を具体化したその精緻な表情や本格的な衣裳は、逼真の舞台装置や音響照明とも相まって、人による演劇を遙かに凌駕する迫力で観る者を圧倒します。



●川本重八郎(人形美術家・アニメーション作家)  
東京・千代田区に生まれる。旧制横浜高等工業学校(現横浜国立大学)建築科卒。1982~84年NHK人形劇「三国志」の人形美術を担当。1984年 第26回児童福祉文化奨励賞、第17回テレビ大賞特別賞。1993年~94年 NHK人形歴史スペクタクル「平家物語」の人形美術を担当。1995年 第四回組日小観劇を受賞。

**これは人形劇ではなく人間ドラマだ**

脚本家ジェームス三木が贈る渾身の歴史絵巻  
脚本にはジェームス三木を迎え、古今の文学の基礎を築いたといわれる三国志の魅力をいやが上にも増幅。出会い、別れ、葛藤、そしてスペクタクル……。様々なエピソードを散りばめながら進む壮大なストーリー、そして三顧の礼、赤壁の戦いをはじめとした名シーンの数々が、人生をあらかんに照らしてくれます。



●ジェームス三木(脚本家)  
「何と云っても川本さんの人形が素晴らしい。それに人形を使う人々の書くべき技術。かつて、日本の武士の救済は、中国文化を父としていた。信長も秀吉も家康も三国志を愛読したに違いない。そしてその世界は、時代や洋の東西を問わず普遍的なものである。」

プロジェクターと俳優による  
初心者でもわかりやすい解説つき

人形の先入観を打ち破る  
スケールと精巧さ

身の丈1.2m以上、重さ5Kgもの  
大型人形を操作する技術

